

平成23年度 リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成23年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成24年2月8日(水)にメトロポリタン盛岡NEW WINGにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者19名、委託関係者23名ほか、計50名の参集を得て、除草剤1薬剤(3点)、生

育調節剤6薬剤(26点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成23年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. SB-211 フロアブル グ リホネートイソプロピル 塩:20% カルフェントラチンエチル:2% 【ス・デ・イー・エス・パ・イ行 ツ】	リンゴ	適用性 継続	青森りんご研県南 (王林) 富山果樹研 (こうたろう、陽光 長野果試 (秋映)	ねらい 一年生、多年生、茎/葉処理 対象 一年生仔樹 全般 一年生広葉 全般 多年生仔樹 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 葉量 雑草生育期(30cm以下)、 <水量> 春期および夏期 /10a 500, 750, 1000mL<100L> 対) スギナ 500mL<100L>	・展着剤は不要。 ・樹に掛からない 様に散布する。 ・処理後30日程度 で調査を行う。 ・効果の発現を確認 するため処理 後5日程度で、さら に、抑草期間 を確認するため 60日後まで調査 を行う。	継	継) ・効果、葉害の確認

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. AP-3 くん蒸成型 1-メチルピロリドン 0.628% [7.85mg a. i. / (1.25g) 【ロ・A・ア・ンド・ハ・ス・ジ・ヤ ハ・ン】	リンゴ (ジョウゴ -ト)	適用性 継続	岩手<中間> 長野果試	ねらい 収穫後くん蒸処理/貯蔵性向上 設計 葉量 密閉容器内くん蒸処理 <水量> 収穫当日(24時間以内) /10a 1000ppb(1錠/3.5㎡)	・収穫用コッパまたは 出荷用箱に入れた 果実をハレット (容積3.5㎡)に入 れ、マトリアを1個 入れる。 ・直ちに容器を密閉 し24時間以上密閉 状態を保持する。 ・処理終了後に開封 し、果実を箱または コッパに入れたまま 室温に保存する。 ・処理2,3,4,8週間 後に果実硬度、油 上がり等を測定す る。収穫後24時間 以内の果実を試験 に用いる。	実・継	実) [リンゴ; 収穫果実の貯蔵性向 上] ・収穫後24時間以内 ・1000ppb(1錠(1.25g)/3.5㎡) ・製剤から発生する気体に密 閉条件で24時間暴露 ・効果の確認された品種 ふじ、ジョウゴ-ト、つがる、 王林、ジョウゴ-ト 継) ・効果、葉害の確認 (王林、ジョウゴ-ト、秋陽)
	リンゴ (王林)	適用性 継続	青森りんご研 山形国試	ねらい 収穫後くん蒸処理/貯蔵性向上 設計 葉量 密閉容器内くん蒸処理 <水量> 収穫当日(24時間以内) /10a 1000ppb(1錠/3.5㎡)	・収穫用コッパまたは 出荷用箱に入れた 果実をハレット (容積3.5㎡)に入 れ、マトリアを1個 入れる。 ・直ちに容器を密閉 し24時間以上密閉 状態を保持する。 ・処理終了後に開封 し、果実を箱または コッパに入れたまま 室温に保存する。 ・処理2,3,4,8週間 後に果実硬度、油 上がり等を測定す る。収穫後24時間 以内の果実を試験 に用いる。		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
2. AH-01 液 グ ルシネートナトリウム塩: 11.5% [Meiji Seika777 北興化学工業]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	宮城園研 秋田果試 長野果試<中間> (3)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10a ひこばえ刈り取り代替 ひこばえ茎葉散布 ひこばえ発生期。 ・春夏季1回 1000mL/10a <100L/10a> 1000mL/10a <150L/10a> ・春季→夏期(2回) 1000mL/10a×2回 <100L/10a> 春季→夏期→秋季 1000mL/10a×3回 <100L/10a>	・ひこばえ茎長 30cm以下で散布 する。 ・結果枝には飛散 しないように、樹 幹にもできるだ け飛散しないよ うに注意して散 布する。 ・連年処理を実施。 ・ひこばえの枯凋 効果、樹体への薬 害の有無・程度を 調査する。 ・処理時のひこば えの茎長を記録 する	継	継) ・効果、薬害の確認
3. AKD-8086 水和 キナチネート:12.5% フェニトリン:25% [7'グ' 0'ホネショウ]	リンゴ (早 生系ふ じ)	適用性 継続	秋田果試 (やたか) 山形園試 (紅将軍)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10a 果そう葉摘葉 (品種拡大) 立木全面散布あるいは枝別散布 収穫開始予定日の30日前 1000倍 <400~700L/10a> 1500倍 <400~700L/10a> 2000倍 <400~700L/10a>	・果実品質 (内外品 質) に及ぼす影 響を確認する。 ・展着剤 'ホネ' を 1000倍で加用す る	実・継	実) [リンゴ (早生系ふじ): 摘葉] ・収穫30日前 ・1000~1500倍 十分量 (展着剤加用可能) ・立木全面散布 ・効果の確認された早生系ふじ 昂林、やたか、紅将軍 継) ・2000倍での効果、薬害の確認 (早生系ふじ) ・効果、薬害の確認 (早生系ふじ、'ホネ' ヲコ)
	リンゴ (早 生系ふ じ)	適用性 新規	長野果試	ねらい 設計 薬量 <水量> /10a 果そう葉摘葉 (品種拡大) 立木全面または枝別散布 収穫開始予定日30日前 1000倍 <400~700L/10a> 1500倍 <400~700L/10a>	・果実品質 (内外品 質) に及ぼす影 響を確認する。 ・1区あたりに散布 した液量を記録 する。		
4. AKD-8152 水溶 1-ナフタリン酢酸ナトリウム: 4.4% [7'グ' 0'ホネショウ]	リンゴ	適用性 継続	岩手 (ふじ) <中間>	ねらい 設計 薬量 <水量> /10a 花芽形成促進 立木全面散布 満開6, 8, 10週間後/3回 4000倍 <300~600L/10a> 8000倍 <300~600L/10a>	・果実品質の調査 を行う ・翌年の花の形態、 花蕾数の調査を 行う	継	継) ・効果、薬害の確認
5. AKD-8156 水溶 1-ナフタリン酢酸ナトリウム: 4.4% [7'グ' 0'ホネショウ]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	青森りんご研 岩手 秋田果試 (自主) 長野果試	ねらい 設計 薬量 <水量> /10a つる割れ (裂果) 軽減 立木全面散布あるいは枝別散布 満開14日後 3000倍 <300~600L/10a> 満開21日後 3000倍 <300~600L/10a> 満開28日後 3000倍 <300~600L/10a>	・品種「ふじ」で試 験を実施する。 ・果実品質の調査 及び連年使用で の樹体への影響 を確認する。	実・継	実) [リンゴ (ふじ、早生系ふじ): つ る割れ軽減] ・満開20~30日後 ・3000倍希釈 (十分量) ・立木全面散布 ・効果の確認された早生系ふじ 昂林、やたか 注) ・処理により果実肥大が抑制され る場合がある ・処理により葉の黄化や葉のしお れがみられる場合がある ・樹勢の弱い樹での使用は避ける
	リンゴ (早 生系ふ じ)	適用性 継続	秋田果試 (やたか) 山形園試 (昂林)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10a つる割れ (裂果) 軽減 立木全面散布あるいは枝別散布 満開14日後 3000倍 <300~600L/10a> 満開21日後 3000倍 <300~600L/10a> 満開28日後 3000倍 <300~600L/10a>	・「早生ふじ」系統 の品種で試験を 実施する。 ・果実品質の調査 を行う ・各区100回果以上 で調査を行う。		継) ・処理時期について ・連年施用による樹体への影響に ついて ・樹勢の違いによる効果・薬害の 変動について

C. H22年度分 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 型 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. AF-1 粉末 1-メチルピロリドン : 3.3% 【三井物産 Agrofresh Inc.】	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	岩手 (1)	ねらい 貯蔵性向上, 設計 密閉容器内暴露処理 薬量 収穫直後(24時間以内) <水量> 1000ppb /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温 下で24時間程度 密閉状態を保持 する	—	
2. AF-3 くん蒸成型 1-メチルピロリドン : 0.628% 【7.85mg a.i./1.25g】 【三井物産 Agrofresh Inc.】	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	宮城園研 (1)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 薬量 収穫直後(24時間以内) <水量> 1000ppb (1錠/3.5m3) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温 下で24時間程度 密閉状態を保持 する	—	H23年度分参照
	リンゴ (ジャゴ -カド)	適用性 新規	岩手 (1)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 薬量 収穫直後(24時間以内) <水量> 1000ppb (1錠/3.5m3) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温 下で24時間程度 密閉状態を保持 する	—	
3. AH-01 液 グリホサートトリウム塩 : 11.5% 【明治製菓 北興化学工業】	リンゴ	適用性 新規	長野果試 (1)	ねらい ひこばえ刈り取り代用 設計 ひこばえ茎葉散布 薬量 ひこばえ発生期(茎長30cm以下) <水量> 1000mL <100L> /10a 1000mL <150L> 対) 無処理区	・ひこばえの枯凋 効果と樹体への 影響を調査する	—	H23年度分参照
4. AKD-8152 水溶 1-ナフチル酢酸ナトリウム : 4.4% 【アグロネーション】	リンゴ	適用性 継続	岩手 (さんさ) (1)	ねらい 花芽形成促進 設計 立木全面散布 薬量 満開6.8.10週間後/3回 <水量> 4000倍 <300~600L> /10a 8000倍 <300~600L>	・立木全面散布	—	H23年度分参照